

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則に従って行う。

2. 競技者の招集について

- (1) トラック競技の点呼場所は100mスタート地点の後方とする。
フィールド競技の点呼場所は、当該競技のピットとする。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、すべてその競技の開始時刻を基準とする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	15分前	走高跳・走幅跳・投てき	30分前	15分前
			棒高跳	45分前	30分前

- (3) 点呼方法 ※トラック競技は、組により点呼時刻が異なるので十分注意すること。
トラック競技の点呼……競技者係の所に集合し点呼を受ける。
フィールド競技の点呼……直接現地に集合して点呼を受ける。

(4) トラック競技の招集方法

- ア. トラック競技に出場する競技者は、出場種目の招集開始時刻がきたら、招集場所にて自分のナンバーカードを競技者係に見せ、チェックを受ける。
- イ. 点呼を終えた後も招集所を離れないこと。移動は競技者係の誘導による。
- ウ. 他競技に出場の競技者については、競技者自身または監督により、その旨を競技者係およびその競技の審判員に申し出て出場を許可してもらう。
- エ. 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権（きけん）したものとみなす。
- オ. 四種競技については、それぞれの種目ごとに点呼を受けること。

3. トラック競技について

- (1) 同じ種目でも、組によって招集時刻が異なるので注意する。
- (2) トラック競技の出場者は、各チームで用意した腰ナンバー標識をユニフォームの右腰やや後ろにつける（逆走の場合は、左右両方につけるので注意）。但し、中長距離種目の10レーン以降の腰ナンバーカードは競技者係より受け取ることができる。
- (3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (4) リレーのオーダーは、1組目招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出するものとする。時間までに提出されない場合は、棄権とみなす。リレーでは、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。なお、マークは主催者側で準備したものを使用すること。
- (5) トラック競技の準決勝・決勝の走路順は本部抽選とし、記録速報掲示板の番組編成欄に掲示する。結果については、速報掲示板に掲示する。
- (6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001秒以上の差が認められれば、着差ありとして決定する。この結果、まだ同成績がいる場合には、本部での抽選によって決定する。ただし、レーンに余裕がある場合は、同記録者の着差判定は行わず、次のラウンドに進めるようにする。
- (7) 800m予選と3000mタイムレースは、階段スタートで行う。
- (8) 2・3年男子1500m決勝、女子1500m決勝は16名で行う。
男女の800m決勝は2組とし、A決勝が予選1着プラスタイム上位者 B決勝が残りのプラス進出者とする。但し、表彰についてはA決勝の順位で決定する。
- (9) 男女200m、男子400m決勝は、予選の結果により上位8名によるA決勝と、9番目から16番目によるB決勝で行う。但し、表彰についてはA決勝の順位で決定する。
- (10) 男子3000mは、タイムレース決勝とする。
- (11) 1500m、3000mで周回遅れとなった選手は、競技を中止させることもあり得る。
- (12) 本大会のスタートについては、第162条5を適用せず、不適切行為を注意にとどめる。但し、不適切行為が繰り返し行われる等、悪質なものは、第125条5および第145条2を適用し、失格とする。

4. フィールド競技について

- (1) 走高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。
男子（練習1m36）1m41（以後5cm上がり）1m61以後3cm上がりとする。
女子（練習1m15）1m20（以後5cm上がり）1m40以後3cm上がりとする。
四種競技 男子（練習1m25）1m30（以後5cm上がり）1m40以後3cm上がりとする。
女子（練習1m05）1m10（以後5cm上がり）1m20以後3cm上がりとする。
- (2) 棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。
（練習2m00）2m00以後10cm上げ（出場者の状況、天候などによる変更あり）。
- (3) 走幅跳は予選を行う。予選通過標準記録は下記のとおりとする。
男子 走幅跳 5m30 女子 走幅跳 4m20
通過記録を超えた者が12名に満たない場合は、上位から12位及び12番目と同順位の選手を決勝に出場させる。
- (4) 走幅跳の予選および走高跳はA・Bピットを使用する。
- (5) 走幅跳、砲丸投における計測ラインは下記のとおりとする（当日の天候などによる変更あり）。円盤投げは全て計測する。
男子 走幅跳 4m00 砲丸投 6m00
女子 走幅跳 3m00 砲丸投 6m00

5. 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) トラック種目の靴底の厚さは、800m未満の種目では20mm以内、800m以上の種目では25mm以内とする。
- (3) フィールド種目の靴底の厚さは、20mm以内とする。

6. 補助競技場に関して

- (1) 補助競技場の開放は、7:20からとし、1日目は16:15まで、2日目は14:05までとする。開放中は、事故のないように各自、各学校で注意をすること。
- (2) 補助競技場は、安全確保のため、走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投のピットは開放しない。
- (3) 1、2レーンは周回レーンとし、ホームストレートの3、4レーンはスタートダッシュレーン、5、6レーンは100mHレーン、7、8レーンは110mHレーンとする。バックストレートは3～6レーンをリレー・短距離レーンとする。(スターティングブロックも設置しない)
- (4) 外周のフェンスに寄り掛かったり、乗り越えたりする行為は禁止とする。補助競技場にテントなどを設置する場合は、フェンス外側の芝生部分(斜面)の定められた場所のみとする。
- (5) 補助競技場の芝生部分は、体操やJOG、ドリル、流しなどの練習は可とするが、スパイクでの練習や用具を使った練習は禁止する。
- (6) 補助競技場には、放送が入らないので、十分注意すること。
- (7) 補助競技場への出入りは、100mスタート後方のゲート、1カ所のみからとする。
- (8) 私物の持ち込みは、安全上の理由で禁止とする。競技者・引率者・競技役員以外の立ち入りを禁止する。補助競技場担当係は設置しないので、事故のないように注意して使用すること。

7. 感染症対策 【基本的な感染対策】

- (1) 3密(密閉・密集・密接)回避の励行
 - ・テント、招集所等の人が集まる空間は互いに適度な距離を保ち、風通しをよくし換気を心がける。
- (2) 清潔な環境
 - ・こまめに手洗ひまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
 - ・多くの人が頻繁に触れる箇所を清潔に保つ。
- (3) マスク着用について
 - ・着用は個人の判断を基本とする。
 - ※マスクを着用する場合は、熱中症予防に留意する。
 - ・咳をする際には、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにする。
- (4) 競技会に関わる全ての人(競技者・チーム関係者・大会/競技役員・観客・メディア・競技場スタッフなど)への基本的な注意事項
 - ・3密を避けた行動をとる。
 - ・こまめな手洗ひ、アルコール等による手指消毒を行う。
 - ・日々の体調管理を徹底する。
 - ・新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどによる感染症罹患中および快復後十分な時間を経過していない場合に競技会へ参加しないこと、また、競技会場において観戦しないこと。
 - ・大会主催者は競技会にかかわる全ての人への感染に対するいかなる責任を負わない。

8. その他

- (1) 8位までの入賞者には賞状を授与する。表彰式は実施せず、大会本部にてチームの引率者が代わりに賞状を受け取る。
- (2) 競技者以外の者は、絶対に競技場内に立ち入らないこと。(特に、本部前、フィニッシュ付近は通行禁止とする。)
- (3) ウォーミングアップは、補助競技場で行い、安全に留意すること。(主競技場は2日とも、7:20～8:30まで開放する。)
- (4) リレーの練習で使用したマークは、各団体で責任をもって処分する。自分のゴミは、持ち帰ること。(ペットボトルや缶も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。)補助競技場も同様とする。
- (5) スタート・フィニッシュ付近では、静かにする。
- (6) 競技の進行上、競技開始時刻などに変更が出る場合もあるので、放送を聞きもらさぬように注意すること。
- (7) 競技場および補助競技場に練習用の個人器具を持ち込むことは禁止する。(棒高跳のポールを除く)
- (8) 主競技場のメインスタンド、メインスタンド裏のテント設置は禁止とする。テント等を設置する場合は、サイドまたはバックスタンドの自校の割り当てられた場所のみ可能とするが、風で飛ばされたりしないよう十分注意すること。(雨天などで対応が必要な場合は、当日指示する。)
- (9) 競技中の事故については、主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (10) 盗難防止のため、貴重品は各自で保管する。また、スタンドでの盗難・置き引きには十分注意すること。
- (11) 競技規則第145条2及び第162条5の適用により警告を2回受けた競技者は失格とし、この競技会における以後の全ての種目に出場できなくなる。
- (12) 雷雨や競技続行不可能な際の緊急避難に関する場合は、アナウンスで連絡するので指示に従うこと。
- (13) 生徒保護の観点から試合内容のYouTubeを含むSNSへの掲載を禁止する。
- (14) 保護者の駐車場は第2駐車場を8:00より開放しますが、競技場入場は8:30からとする。第1駐車場は競技役員専用とします。
- (15) 保護者の応援はメインスタンドのオレンジ色の座席のみとします。